

ひ

☆-----☆

.....
.:*.:。 .:*.:。° ☆。 .:*.:。:*.:。° ☆° '。:★.:。 .:ξ.:。:*.:。 .:*.:。° ☆。 .:*.:。:*.:。:

小宮ベーカリー純子の『未来メーカーのためのミラクル コネクション』2020

◆ JUJULING・LAND ◆

令和2年8月17日

☆-----☆

■ 3時間ずつのリーディングのマスター・クラスが始まります

。 + ☆ ★° .:;。° .:;。★° .:;。° .:;。☆

◆ 皆さんにも関係のあることです

今回は、すごく長いメルマガです。
多分、こんなに長いメルマガは久しぶりです。

(笑)

それくらい
長く書くべきことがあるので
何回かに分けたらどうか？

とも、考えましたが
一気に書くことにしました。

(笑)

読者のみなさん、
みなさんにも関係のあることですので、

ひ

長いし、個人的なことも書いているので
めんどくさいなあ～
と、思われるかもしれませんが、

できれば最後まで読んでいただきたいなと思っています。

。 + ☆ ★°・∴、°・∴、★°・∴、°・∴、☆

◆ サバイバル本能の根底にある感情は？

今年の1月30日に例年のように
私は夫のワンドマスターKENと一緒に
イギリスの自宅から日本に飛んで来ました。

いつも欧州のどこかでトランジットして日本に飛ぶのですが
その日、
マンチェスターからヘルシンキへ飛ぶ飛行機の右横の席に
黒いマスクをつけた若い中国人の青年がいました。

すでに武漢でのコロナの様子は報道されていたので

傍若無人に国際線に乗る、中国人の青年に対して
空気読めないやつだなあ…と、ちょっと舌打ちをしたくなる気分。

それでも、飛行機がテイク・オフすると
彼は寝入ってしまいました。
よく見ると、大学生の甥っ子とよく似た風貌で年恰好も似ている。
しかし、私の心の中には
マスクはしているものの、
中国から始まったキャリアかもしれない彼の無邪気な姿に
安心できない気持ちがあることを見つけました。

ひ

この中国人青年に対する、この感情は何だろう？

中国人ではあるが、マンチェスターから搭乗したのだから
イギリス留学をしているはずだし
武漢から来たなどという証拠もない。
台湾から来たかもしれないし
もしかしたら、中国語さえ話せない異国生まれの青年かもしれない。

しかし、そうであれば、ファッションが違うはず…
などと、右側の席に座った青年に対して
警戒心が異常に高くなっていることに気づいたあと

この感情は、
もしかしたら、差別感情か？

あるいは

差別などという複雑なものではなく
もっと基本的な、サバイバルのための本能なのか？

日本に向かうフライトの中で、
私は差別感情の基盤にある「本能」に気づき

では、魂のレベルではどうなのか？

と、問い続けました。

本能は生きるということに強くつながっていて
その本能は「コロナ」に対する警戒心を強めている。

その結果、従来であれば差別感情を超えることができる理性を
少し脇に追いやる作用をもたらしているんだ。

しかし、

ここで魂のレベルへと意識の中心を持っていくと

ひ

そこに展開されている状況は一転する

この青年もまた、
私のことを恐れているかもしれない。

そして、

今はまだ感染が広がっていないイギリスでも
イギリス人であるということだけで
感染源であり、ウィルスそのものであるかのような
そんな扱いを受ける逆転の日が来るかもしれない。

2020年1月30日の時点での私の意識は
コロナが人々にどんな影響を及ぼすかについての考察が
この程度しかできていませんでした。

しかし、その後、フランスの電車の中で中国人3人が
罵詈雑言された挙句、スーツケースを蹴られ
下車せざるを得なくなる動画が Youtube に上げられたり

ロンドンで日本人がコロナと呼ばれて襲われた
というニュースを見たりしているうちに

私の中から出てきた、理性の底にある感情を
外にみているのだなと、気づくようになりました。

心の底に、本能とつながった差別感情があるのに
理屈や理性で蓋をしたきたものが

世界的な規模で噴出し始めたのかもしれない

もちろん、理性的な人のほうが多いとは思いますが
本能と結びついた差別感情は
その後、自粛警察のような形になって
人種差別を超えたところで起こりはじめたことを

ひ

私たちは、その後、経験することになったと思います。

ここまでは
コロナ初期状況振り返りとその後、といった感じで
書きました。

。 + ☆ ★° ∙ ∙ ∙ ° ∙ ∙ ∙ ° ★° ∙ ∙ ∙ ° ∙ ∙ ∙ ° ☆

◆ 2020年の2月は以前の世界の最後の月

2月にはフランスのマルセイユから
神聖幾何学マルセイユタロットの作家であり研究者である
ウィルフリード ウドワン氏夫妻を日本に招くことになっていたのですが

妊娠中の奥様が前置胎盤と診断され
ウィル氏のみが来日することになり

ホッとしました。

コロナの流行する世界を妊婦さんが旅するのは
きわめて危険とっていたので、
不謹慎にも、前置胎盤に感謝した次第でした。

2月22日に東京から始まる講座とセッション群をこなす前に
短い時間の日本観光で
マルセイユタロットに関連する幾何学の取材ができればと
大江戸博物館、東京タワー、明治神宮
そしてウィル氏が子供のころから大好きだった
お台場のガンダムを訪れ
夜には、イルミナティカードに描かれている
銀座和光の時計を見に行くなど
ごく普通のサイトシーイングをしました。

ひ

千駄ヶ谷のサロンには
次から次へとクライアントさんがやってきて
ウィル氏と連携してセッションをこなし
アネモネの取材を受け、東京で講座を行い京都へ向かいました。

京都でもセッションと講座は盛況で
八坂神社さんをお参りしたあと、広島へと向かいました。

原爆ドームを訪れ、平和公園で青桐の木とまみえ
広島でのセッションを終えて、福岡へ。

福岡では追加の講座とセッションを行い
東京へトンボ返りしたのち、ドコモタワーの見える高層ホテルで
最後の夜を過ごして、羽田からフランス、マルセイユへと
無事に帰っていったのが2月28日のことでした。

思いが実現したことがうれしくて
少し、ゆったりしたいと思っていた矢先

ある直観が訪れました。

今、母に会いに行かなければ、また会えなくなるかもしれない…。

。 + ☆ ★° ∙ ∙ ∙ ° ∙ ∙ ∙ ° ★° ∙ ∙ ∙ ° ∙ ∙ ∙ ° ☆

◆ 5次元意識の極意その1「感情のカラーを見る」

ずいぶん前に出した拙著『五次元思考実践ガイド』にも
繰り返して書きましたが、

ひ

ふとやってきた直観で
そこに感情的なカラーがないものには
したがってみるといいとい5次元ライフのセオリーがあります。

胸騒ぎは不安感からくるものが多いので
直観を見極めるときには、感情的な色合いをみるといいのです。

この直観には、感情的なカラーがなくニュートラルだったので

直観に従って母に会いに老人ホームに行くと

案の定、

翌日からすべての入居者への面会を禁止にする旨の郵便を
出したところとのこと。

弟に囲い込みをされた母のことは
保護者である彼の許可なしに、私や私の家族には連絡できない。

もちろん、施設側は私たちに連絡をする意思などないので
直観に従って面会に行かなければ、
やはり母に会うことができなくなったわけです

2月の神聖幾何学マルセイユタロットの講座を無事終えて
2月最後の日に母と面会を果たしたあと

世界はどんどんコロナ禍へと突入して行きました。

。 + ☆ ★°・:;、°・:;、★°・:;、°・:;、☆

◆ 5次元ライフの極意その2「橋を渡る決心をする」

ひ

それでも、3月の仕事をこなし
25日に札幌でのセッションに向かった後、
コロナの勢いが増しに増し、

ついに4月7日は緊急事態宣言が出ました。

不要不急の移動が禁止された中
多くの方がリモートで仕事をせざるを得なくなり
解雇される人が大量に発生し始めました。

小売店は、売り上げの出ないお店の家賃を払うだけで
倒産の憂き目にあいはじめていました。

世界各国の空港は閉鎖され
イギリスに帰国するためのフライトがキャンセルとなりました。

なるほど

毎年、イギリスに帰る時期には帰れない
イギリスはロックダウン中で、
チャールズ皇太子やボリス・ジョンソン首相までがコロナにかかってしまった
エリザベス女王もウィンザーに隔離
65歳以上の女性はスーパーマーケットに行くことも禁止。
破れば1000ポンド（約14万円）のペナルティ！？
ルールが破られていないかを警察が連日チェックに来る！？
庭に出ていただけで隣人に通報される人もいるとか？
年齢のいった家族に会いに行くのもダメ…

私たち一人ひとり健康でやる気があっても
社会が病みはじめたので
物事が思うように進まなくなってきたのです。

今まで日本の多くの人の問題となっていたのは
社会も経済もそれなりに動いているのに

ひ

自分自身が思うように動けない
自分らしく生きられない
心のブレーキがかかっている

それをどうにか打破すれば
思うように社会の中で泳ぎ回れるし
羽ばたくこともできる！

日本だけでなく、世界に飛び出て
様々な体験もできる！
しかし、自分の中にある観念による制限やトラウマが
足を引っ張る…

社会が機能している間の、人々の思いはこんなところ
にあったのではないかと思います。

しかし
コロナ禍は、まるで戒厳令が敷かれたり
戦時中であるかのように、
社会そのものの機能を止め始めました。

やる気があるのと、制限が外れていようと
お構いなしなのです。
機能していない世界の中で、先進諸国といわれる国の多くの人が
部屋の中に閉じこもらなければならなくなり
人と接触することができなくなってしまったわけです。

ならば、人が使えない東京のサロンを閉めて、
コロナの影響で民泊に宿泊するツーリストがいなくなった
札幌のサロンがあるタワーマンションに暫く滞在して
コロナが収束したら、また同じ東京のマンションにサロンを借りよう！

と決断しました。

5次元ライフ的に言うと
物事は、決断するまでは現実世界に出現しない

ひ

ということになるのですが

こんな風に、決断を下すと、
なんと9年前に目をつけていた
タワーマンションの33階の部屋が空いたのです！

内観に行くと、
眼下には、緑豊かな公園、川、そして近くと遠くには雄大な山々
ベランダから景色を眺めていると、4月なのに雪が降り始め
雹に変わり、雨になったかと思うと、太陽が照るとい
うスペクタキュラーな自然界の姿を展開して見せてくれたのです。

ここに、キーポイントがあるので、書いておきますね。

多くの方は、「橋がかかったら渡ろう」と思っています。

しかし

ほしい現実を作るためには、
「橋を渡ることを決心すること」が先決なんです。

橋を渡る決心をすると
そこに、橋が出現する。

これが5次元ライフの極意だといえます。

でも、こういう決断って怖いと思う人も多いので
直観だけに頼るのではなく、自分の状況、社会の状況
世界の状況、宇宙の状況のすべてを見渡して
物事の動向をつかんだうえで、
自分が本当に望むものと特定することをお勧めします。

最終的には、自分自身の直感を信じて
決断を下すのは、私たち自身ですが
それまでの情報収集を怠ると
独りよがりな妄想を描いてしまうことになり
現実から離れてしまうので、現実が生まれなくなる…
…んです。

ひ

(笑)

当たり前ですね、現実から離れるので、現実ができなくなるって

(笑)

。 + ☆ ★° ∙ ∙ ∙ ° ∙ ∙ ∙ ° ★° ∙ ∙ ∙ ° ∙ ∙ ∙ ° ☆

◆ 今年のイギリス聖地ツアーは…

まあ、これで今年のイギリス聖地ツアーはできないことが確実になりました。

夏至のストーンヘンジは、スタッフが中に入って

Youtube で日の出の中継をすること…

しかし、5次元ライフ的な観点でいえば

20年も続けてきたイギリス聖地ツアーは、

意識の世界の中に、そのひな形があり、

そこには慣性の法則を持っているので

場所や形態が違ったとしても、それは起こりうる。

そこに、またもや、次の直観がやってきました。

札幌はイギリスの緯度と近いので

本州では難しいイギリスの植物が育ちやすい

しかも、ストーンヘンジのレプリカのある霊園まである！

そうだ！夏至のツアーを札幌でやろう！

ストーンヘンジのレプリカを訪れて

イギリスのストーンヘンジと同期しよう！

日本の正午と、グリニッジ時間の日の出の時間は

きわめて近い時間にある！

こんなことが分かってくると
とうとう…次の直観がやってきました。

。 + ☆ ★°・∴°・∴° ★°・∴°・∴° ☆

◆ 理由もなく、その方向へ行きたくなるとき

なぜか、その日は北広島方面に行かないと！
という気持ちになりました。

こういう直観に、私たちは理由をつけたがるものです。
そこで、私の思考は

北広島の友人を訪ねるの？
いや、今じゃない。

北広島のアウトレットに買い物に行きたいの？
う～ん、そうかも
と、とりあえず、自分はアウトレットに行きたいのだと仮定し
わざわざカーシェアリングをして、行ってみました。

特に欲しいものもなく
買って来たのは華やかな黄色のカーディガンと
マッシュルームだけでした。

マッシュルームは、イングリッシュ・ブレック・ファストで
夏至のツアーに来る方たちに食べていただけるとして
カーディガンも、まあ、ないよりもあったほうがよいというもので
こんなことのための直観だったのかな？

ひ

と、思っていると

「僕も、何も欲しいと思ったものはなかったのだけど
来る道すがら、変なものを見たんだ。
多分、それがこの方向に今日来る目的だったんじゃないかと思う。」

君の直観が何も意味のないアウトレットに
僕たちを動かすはずがないとも思うしね」

随分、私の直観をかいかぶった夫ですが
彼もまたワンド・マスターなので
彼が見つけたその「変なもの」を見に行くことにしました。

それは黒くて大きな不思議なものだったのでした。

。 + ☆ ★◦・∴◦・∴◦ ★◦・∴◦・∴◦ ☆

◆ 5次元ライフの極意その3 意識のひな型を知る、作る

そこはハイエースを取り扱っている会社でしたが
乗用車1台とトラック、それと8人乗りのトヨタのアルファードが
片隅に置かれていて
乗用車とトラックは中古車としても普通の値段がつけられていましたが
この黒いアルファードには28万という価格がつけられていました。

変なものとは、この車のことだったのでした。

確かに
年式から言っても走行距離から言っても、こんな値段のわけがない。
事務所はすでにしまっていたので、詳細を聞くこともできない

そこで

ひ

ネットで同じような車を検索して調べてみると
こんな値段でアルファードが買える訳がないということがわかりました。

ネットにもこの車が出ていたので詳細を見ると
事故車でもない様子。

そこで、もう、この車は私たちのために出現したもので
アウトレットでは車を扱っていないので
別のところがアウトレットとしてこの車を私たちにもたらしたのでは？

ただ、車検や冬のタイヤなどをプラスすれば
倍額にはなるはず…
コロナ禍の時期に車を買う人なんているの？
しかも、イギリスの自宅には車があって
札幌にはコロナ収束までの間しかいない予定では？

駐車場も借りなければならないし…
保険もかかるじゃない？

と、即決即断のモットーを崩すような考えに取り込まれたとき

「すごい！速い！たった一週間で持続化給付金が振り込まれた！」
と、カンパニーをいっしょにやっているルノルマン MIMI が叫びました。

まさか、あの申請が通るなんて
しかも、こんなに早く？

驚きとともに、このコロナ禍の中の運命を受け入れるべく
車を購入することにしました。

イギリス聖地ツアーの意識のひな型が、こんなところで動いているのです。

ここでちょっとコツを話しておく
習慣というものは、途切れずに回転させていくことで
意識の中のひな型となり、必要なところで欲する形で出現するということです。

ひ

それを恋人にたとえると、次々に付き合う相手を変えていく人には
次の彼が出現しますが

一度、誰ともおつきあいしなくなると、
なかなか次のお相手が出てこなくなるのです。
仕事もそうですね。

休みきってしまうと、次の仕事がしにくくなるのです。

ですから、終えることを目的にするのではなく
次を始めることを目的にすると

今、終わらせなければならないことは

どんどん終わり、

次を始ませる動きが始まり、

必要なものや人が、どんどんやってくるのです。

ということで

私たちは、車を手にすることになりました。

すると

今度は…税務署から電話がかかって来たのです。

。 + ☆ ★° ·:; ° ·:; ° ★° ·:; ° ·:; ° ☆

◆ よりマッチしたコンセプトへとシフトさせる

税務署からは、

厚生年金や社保についてアドバイスがありますという電話でしたが

この制度について以前も説明したいと連絡があったので

こちらから税務署に連絡を入れて、私たちの会社の形態を説明していました。

私たちのコズミックダンス・カンパニーは合同会社ですから

全員が代表社員であり従業員を雇っていません。

お仕事をさせていただいた方にも、源泉徴収の形でちゃんと税金を払って来ました。

ひ

従業員がいなければ、全員が国保に入って入ればよいと言われていたのですが
コロナ禍の中で、急に厳しいチェックが入るようになり
代表社員は従業員であるとされるようになってしまったようです。

以前と今で全く異なる説明をする職員の方は
きっと、他でも同じことを言わなければならず
クレームに辟易していたのではないかと思います

この電話と、説明が
私たちに、今の状況を更に熟考させる方向へと向けました。

厚生年金と社会保険は、
たとえ1円も売り上げがたたなくても、
支払わなければならない

法人格をもってこれを支払わない者は「罪」を問われるということです。

なんて酷い！

合同会社は別名 LLC と呼ばれるものですが
アメリカでは LLC は法人格は持っていますが、
法人税を支払う対象ではありません。
イギリスでは LLC は LLP として扱われ
法人と同じように扱われるが、法人税は払わないという扱いになっています。

2006年に会社法が変更されたときにできた LLC は
アメリカやイギリスをお手本としたはずなのに
法成立の最後の最後に、法人税を納めるべきとされ
消費税の二重取りがなされる状態にされてきました。

しかし、代表社員は従業員ではないとの税務署の説明に
従っていたのですが
胸をホットなでおろしていたのですが

ひ

税務署の人の理解がまちがっていた？

と？

(笑)

こんな法律がまかり通っているのであれば

コロナ禍の中で

会社を意図的に倒産させる人

破産する人

そして、会社を破棄する人、休眠させる人が

どんどん増えてくるのでは？

予想通り

400社もの大きな会社がこの経済状態の中で倒産し

弱小企業や、小売店は数えられないほどの店舗が閉まってしまった！？

社会は、本当に病んでいるのだと痛感する出来事ではないでしょうか。

やる気もある、身体も健康、人気があってお客様も来る

法外な売り上げを欲しているわけではなく、

自分たちの生活を淡々と続けていく

善良な市井の人々

その人たちの売り上げがなくても、

従業員の生活の保障をしなければならない？

内部留保があったとしても、無理な話です。

さあ、ここまで来ると、

コロナ禍だけではなく、

コロナの影響で後遺症を被る社会

そんな、アフターコロナの世界の動向を見ながら動くべきだろう…

ということがアリアリと見えてきます。

人々は、「Go with the flow」、流れに沿って行こう

そう思っているかもしれませんが

このままでは、流れに乗るどころか

ひ

機能できていない社会の作ったひずみに
流されて行く感も大きいのではないか？

世界は今後どうなるか？
未来を創造するためのルノルマンカードや
神聖幾何学マルセイユタロットで
新しい現実を創らない手はないだろう！

もちろん

それは、私の現実創造には欠かせないことですが
その前にできることとは
機能しない社会の中でも機能する構造の仕事の在り方を
構築することです。

だとしたら、15年前に作りたと思っていた
LLP という有限責任事業組合に移行させるチャンスがやって来た？

法人格を持ちたかった自分のエゴやプライドを超えるときが来た？
そんな風に考えることができます。

よし！

実質をとろう！

機能しない社会の中でも機能する構造の仕事の在り方を作ろう！

LLP とは、映画等を作る際にとられる共同制作のグループの在り方で
個人事業主や株式会社、その他の法人などが一つの目的に従って
運営していくための形態のことです。

従って、法人格はありませんが、個人事業主のように
税務署に申請するのではなく
法務局に登録するもの。

この創造的な目的を一つとするグループとして活動したかった夢を
形にしよう！

さあ、実行に移そう！

ということでコスミックダンス・カンパニーLLCを
コズミックダンス インターナショナルLLPに
シフトさせることにし、登記をする方向に向かいました。

。 + ☆ ★°・∴,° ∴,° ★°・∴,° ∴,° ☆

◆ 垣根を超える度に世界は変化する

法務局に行くと、
LLP というクリエイティブ集団を作るためには
外国人である夫の印鑑証明書を作らなければならないことが分かりました。

しかし、外国人の名前は在留カードも、免許証もすべてアルファベット。
印鑑は漢字とカタカナで作られているので
アルファベットの名前の人と同一人物とはみなさないという
不可思議な日本のルールにぶち当たり、
夫の印鑑登録ができない！ことが判明しました。

私にとって小宮ベーカーという名前は公的で公式な姓ですが
夫にとって「小宮ベーカー」という名前は通称でこそあれ
姓ではない！と言うのです。
この姓がニックネームだというわけです…

(笑)

家庭裁判所を通して作成したジョイントネームなのにもかかわらず
日本国では漢字の名前を外国人が持つことができない？
印鑑証明を作るためには、外国語の印鑑でなければならない？

(笑)

ひ

こんな風に
住民税を払っていても、所得税を払っていても
外国人には意味の分からない壁が設けられているのです。

今までも、諸外国とは異なる日本独自の解釈を
乗り越えてきたので、こんなことでめげませんが

外国人に対する日本の法律は
合理性も論理性も欠いている点が多く
時には、無理やり主張を通すための詭弁であったりします。

こういった超えられない制限を目の前にすると
やはり、この世のルールを超える
5次元ライフ的な思考を実行したくなることが多くなりますが

そうして、垣根を越えているうちに、世界は変化していくのです。

ですから、無理だと思ったことを、そのままにせず、
早急にあきらめたりせず、
本当は何を欲しているのかを常に特定して
決断する。

そうすると、無理難題を超えるエネルギーが湧いてくるか、
解決された現実がそこに出現するかの、どちらかのソリューションが現れます。

しかし、こういった現実直面すると
その時、1月30日にイギリスを飛び立った時に私が感じた
中国人の青年への感情が立ち戻って来ました。

外国人に対する
根深い差別の感情が制度にまで影響している。

そして、その差別感情は、サバイバルしたいという本能とつながっている！

コロナ禍の中、世界中で露呈したのは

ひ

でも、
それでも、私たちは考える輩なのです。

私たちは想像力を使って、
創造の力を発揮することができる意識の構造をもって、
ここに身体として具現化した存在です。

今ほど、
私たち一人ひとりの世界を創造する力を発揮する「動機」を持てるときは
ないかもしれません。

その創造性を発揮するために、
直観に関心を向ければ向けるほど、
その先の世界が展開されていきます。

それは

フランス革命のように、社会が機能しなくなり
強靱な支配下に置かれた市井の人々のために
リーディングを行ったルノルマンのカードのように

そして、そのルノルマンをして
パリで成功する道を選ぶように促した
マルセイユ・タロットの持つ、根源的な創造の世界への参入を促す
リーディングのもととなる神聖幾何学のように

人生の新しいフェーズが
まるでカードをめくるように、
めくられ、めくられ、
めくるめき未来を創造する力を発揮する

個人を超えて、世界へと心を傾ける人たちによって
展開されていくと思うのです。

ひ

自立したいという思いを持っていた人も
今の世界を見渡すとわかるかもしれません。
自立している人たちにとっても
機能していない世界で成功していくことは困難な時代です。
自立したくても、機能していない社会に飛び出ていくことは
困難を極めます。

今は、じっくりと
直観を磨き、創造的な能力を使うための
意識の構造を整えて

思ったことを一つ一つ、自分の周りから
現実化させていく
素晴らしくワクワクするときです。

そして
できれば、3月から半年近くも足止めされた
あなたの行く手を、展開を、広がりをも、
達成へと向かわせ
遅れを取り戻し、時を超えた未来へとワープするかのよう
に進むときですね♪

お盆も終わりました。
9月再稼働に向けて

私たちと一緒に、学び、一緒に成長し
世界の想像力と創造力の一つとなって下さい！

メルマガは最高に長くなってしまったので

この夏に、差をつけたいあなたのために

こんなオファーを考えました。

。 + ☆ ★° ∴ ∴ ∴ ★° ∴ ∴ ∴ ☆

◆ キ

編集後記

。 + ☆ ★
。

今回は、編集後記も長いですよ～
(笑)

毎年、夏には1週間から2週間、イギリス聖地を訪れたり
パリ・ルノルマンツアーを行うために
ホテルを転々とする生活をしているのですが

前に書いた通り
そのひな形が内側にあるので

ひ

イギリスに帰らずとも、似たような現実を引き寄せてしまいました。

まさに5次元ライフといえるような不思議な体験です！

それは

7月の末に始まり、明日が最後の宿泊となる
ステイホテル・リレーと私がかってに名付けたものですが
一人6000円の宿泊費のホテルに泊まると
5000円の補助費が出るので、実質1000円でホテルに宿泊できるという
そんな企画を利用して、連日、ホテルを泊まり歩いたのですが

驚くことに

この企画、1000円払って宿泊すると、3000円のクーポン券がもらえる
そんな、算数ができない人が作ったかのような
太っ腹な企画でした。

中には、結構高級な和食レストランで
朝から海鮮丼をいただくなどというものや

滝をしつらえたガーデンでディナーをいただくと
3000円のオーダーごとにスパークリングワインが1杯無料！
などというものまで！

エビスビールに至っては、アペリティフとスパゲッティ
アイスクリームのデザートがついて
生ビールからフルーツビールまで飲み放題！
お二人様で、もらったクーポン5枚でOK
みたいなものまで…

そして、一円も払わず
クーラーのきいたホテルに帰ると
そこには露天風呂が用意されているところまで！

ということで

結果的に、イギリス聖地ツアーやパリ・ルノルマンツアーをやっているときと
何も変わらない、チェックイン、チェックアウトの日常を

ひ

過ごしていました。

編集後記なのに、ここで5次元ライフの極意をもう一つ！

一度、意識の中にできあがったひな型の中には
当たり前のように、物も出来事も入って来ます。

ある人たちは
年収が1000万円は
仕事をやめても、次にまた1000万円の仕事をすることになるし
月収が40万円の人は、仕事をやめても
40万円の仕事を始めることになる
人間というものは、そうできている
と、言います。

本当にそうでしょうか？

社会が病んでいない場合であれば、それは通用する理論だそうです。

しかし、今の現状に満足でなければ
何をどう改善したいのかを明確にしなければ
満足できない現状を解消したとしても
同じような現状がやってくるだけです。

そこで
どこを、どう改善したいのか？
を、意識的になって明確にすることが大切です。

そうしないと

私たちみたいに、意識の同じひな型の中で
同じ町の中をチェックイン、チェックアウトしながら
2週間もの時間を過ごしてしまうことになってしまうのです！

(笑)

ひ

結構、面白い経験でした！

発行者 : 小宮ベーカー 純子

問合せ : [_](#)

ルノルマンスクール : <http://www.lenormand-japan.com/>

コズミックダンスカンパニーLLC : <http://cosmicedancecompanyllc.jimdo.com/>

Copyright (C) 2020 Junko Komiya-Baker All right reserved